

東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



入場無料

そなエリア東京

防災体験学習施設

東京直下
72h
TOUR

もしここで大地震がおきたら…

国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間といわれています。

72時間、どう生き残るか？

「東京直下72h TOUR」はマグニチュード7.3、最大震度6強の首都直下地震の発災から避難までをニンテンドーDS®を使ったクイズに答えながら、生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。

ニンテンドーDS®をもって遊びにおいでよ！

自分のDSを使って体験できます。
※DSは貸し出しもしています。

nintendo zone
ニンテンドーゾーン



※ニンテンドーDSシリーズすべてに対応

防災学習ゾーンでは、首都直下型地震をわかりやすく紹介するミニシアターや、PCによる防災クイズコーナー、世界の防災用品の展示、各種防災ゲーム体験ができます。

☆ 防災体験学習施設「そなエリア東京」

そなえる+エリアの造語。「ここでの体験と学習を通じて、「災害をイメージする力」と「対応力」を身につけることで、災害への備えにつながる場所」を意味しています。



そなエリア東京 防災体験学習施設



東京直下72h

地震発生後72時間の生存力をつける、体験学習ツアー

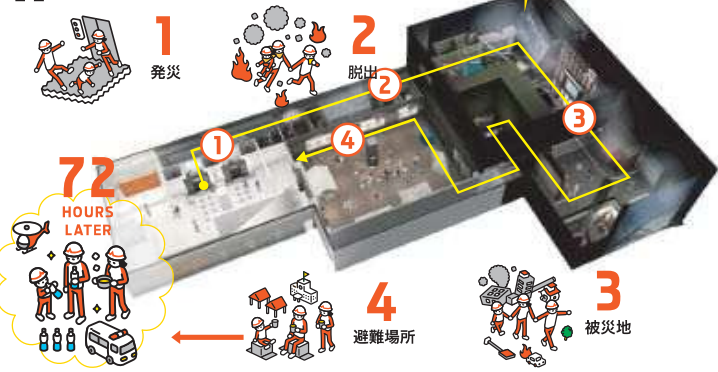
ニンテンドーDS®を使って「防災クイズ」に挑戦

音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、ニンテンドーDS®を使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。シネマステーションでは首都直下地震の再現CG映像を上映しています。

nintendo zone



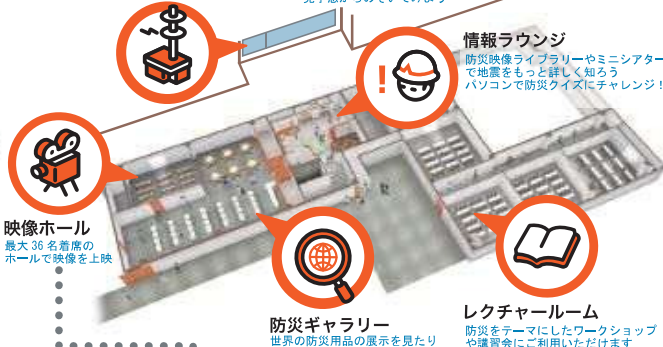
1F 防災体験ゾーン



ニンテンドーDS、nintendo zone、DS/ディーエスは任天堂株式会社の登録商標または商標です。

2F 防災学習ゾーン

オペレーションルーム 見学窓 防災時に使用されるオペレーションルームを見学窓からぞいてみよう



東京臨海広域防災公園 The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



映像ホール
メッセージ映像空間

大型プロジェクターによる映像ホール。2009年にフジテレビほかにて放送されたアニメ「東京マグニチュード8.0」を、この施設用に再構成した「東京マグニチュード8.0～東京直下72h～」を上映いたします。

東京マグニチュード8.0
東京直下72h TOUR

tokyo-m8.com

東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。

※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用いただけません。

平常時には、花と緑があふれる国営公園 (6.7ha) と都立公園 (6.5ha) が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、休憩・休息の場として広くお客様に使って頂ける公園です。公園外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たりながら、季節感を感じることもできる、心地よい空間です。広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。



交通アクセス



ご利用案内

- 【東京臨海広域防災公園】
 - 開園時間 午前6時～午後8時 (12/31～1/1 休園)
 - 入園料 無料
- 【そなエリア東京】～防災体験学習施設～
 - 利用時間 午前9時30分～午後5時 (入場は午後4時30分まで)
 - 休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館) ※年末年始及び臨時休館日があります
 - 入場料 無料

【ご利用に関するお問合せ】
東京臨海広域防災公園 管理センター
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
TEL: 03-3529-2180 FAX: 03-3529-2188
(運営管理: 西武造園・NHKアートパートナーズ)

最寄駅
りんかい線 → 「国際展示場駅」より徒歩約4分
ゆりかもめ → 「有明駅」より徒歩約2分
※当施設に駐車場はございません



本所都民防災教育センター
本所防災館

LIFE SAFETY LEARNING CENTER

防災館利用案内

施設案内

イベント情報

リンク集

案内マップ

トップへもどる

施設案内

1F

地震体験コーナー
Earthquake Simulation Section

本物そっくりの地震を体験しその恐ろしさを知り、いざという時の行動を身につけてください。
また、映像により、地震に対する備えの重要性をわかりやすく説明しています。



都市型水害コーナー
Urban Flooding Experiential Section

局地的集中豪雨や津波に関する映像、地下のドアや自動車が浸水して水圧がかかっているドアの開放体験ができます。



2F

煙体験コーナー
Smoke Maze Section

煙の特性や危険性を知ったうえで、煙と空気の境目である中性帯の中を避難します。正しい避難の方法を身につけ、冷静な判断力と確実な行動力を養ってください。



消火体験コーナー
Fire Fighting Training Section

実際の火災をシミュレートした大型のスクリーンを相手に、消火器または屋内消火栓の使い方を覚えてください。



応急手当体験コーナー
First Aid Training Room

ここでは、心肺蘇生法などの応急手当を訓練用の人形を実際を使って体験できます。また、AED(自動体外式除細動器)も実際に使用し訓練できます。



3F

暴風雨体験コーナー

Rainstorm Simulation Section

風水害をもたらすほどの強風大雨を体験し、そのすさまじさを知るとともに、強風や大雨に関する知識を高めてください。



4F

防災シアター

Disaster Prevention Theater

音響システム、座席の振動等、インパクトのある演出を用い、地震をテーマに迫力ある映像を上映します。



自由見学コーナー

1F

- こども広場・クイズコーナー

2F

- 119番通報コーナー

3F

- 防災ライブラリ
- 川の手地域コーナー・自然災害史
- 地盤の液状化実験・災害データベース・低地と水害

4F

- 防災ゲームコーナー



■しながわ中央公園の視察（2014年10月10日）



図1：三菱マテリアル跡地を利用して開設されたしながわ中央公園



図2：公園入口



図3：公園入口の噴水と水上花壇



図4：看板（寄付者一覧）



図5：看板（樹木の名称クイズ）



図6：各種禁止看板



図7：水上花壇



図8：生け垣



図9：スポーツ広場（広場開放であったため、フットサルをやっている子どもがいました）



図10：ハイブリット街路灯



図11：児童公園



図12：健康器具

■桜川公園の視察（2014年10月8日（水））



図1：毎週水曜日は野球場開放日



図2：子ども達が野球、サッカーをしていました



図3：犬の放し飼い、糞のポイ捨て禁止看板



図4：公園への御意見箱



図5：子ども広場



図6：ネコの虐待禁止、犬の糞の放置禁止看板



図7：サッカー・野球禁止の看板



図8：ウォーキングコースの案内サイン



図 9 : 津波避難情報と花火禁止の看板



図 10 : 市電広場



図 11 : 災害対策用給水装置格納庫



図 12 : 公園管理事務所



図 13 : 駐車場完備



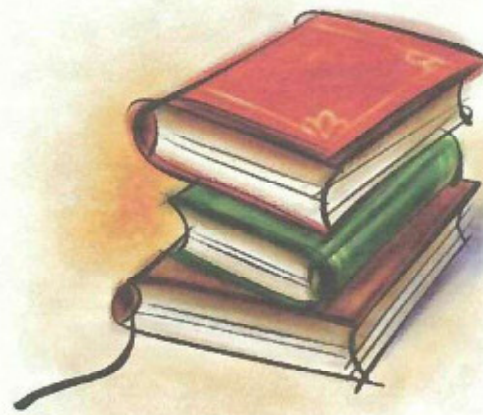
図 14 : ウォーキングサイン

かわさきしきょういくぶんかいかんしきじがっきゅう
川崎市教育文化会館識字学級

にほんごひろば

がくしゅう

学習ガイド



教育文化会館「にほんごひろば」学習ガイド

「にほんごひろば」は、外国人市民のみなさんや、長い間日本を離れていて、日本語に不自由な人たちが、生活に困らないように、必要な日本語や文化・習慣などを学習するところです。

学習の支援をするのは、地域のボランティアです。ボランティアも、あなたといっしょに学習しています。(あなたから母国の文化や言葉を学んでいます。)ともに生きる市民として、お互いが学びあうのが、「にほんごひろば」です。

「にほんごひろば」は、学びたい時にいつでも、だれでも参加できます。学習することは、【会話と読み書き】が基本です。専門的なことや日本語検定試験のための勉強は行っていません。

学習以外に、交流イベントも行います。

「にほんごひろば」は、外国人市民のみなさん・ボランティア・教育文化会館のみなで創っていく場所です。困ったことがあったら、いつでも言ってください。

*このガイドは大切に持っていてください。

1 にほんごひろばの場所

川崎市教育文化会館 4階 *学習があるときに直接、来てください。予約はいりません。

2 曜日と時間

毎週水曜日 19:00~20:30

*祝日と年末年始、3月下旬~4月上旬は休み。それ以外にもお休みすることがあります。

3 費用

無料です。*イベントの時だけ、材料費として500円かかります。

4 保育

学習している間、2歳~6歳までのお子さんをお預かりします。2歳以下のお子さんは、学習しているお部屋で、一緒に過ごしてください。

保育を希望する人は、お子さんの生年月日などを別の紙に書いてください。保育には、4月~来年3月までの1年間で、900円かかります。

5 グループの分け方

あなたの日本語レベルにあわせて、クラスを分けます。(クラスは、A・B・Cの3つあります。)それから、さらに3~5人くらいのグループに分かれます。1つのグループにボランティアが1~2人担当します。

6 クラスと決め方

- ・Aクラス(=入門～初級) 日本で暮らすために、いちばん必要な言葉(会話)を学習します。ひらがな・カタカナの読み書きも学習します。
- ・Bクラス(=初級～中級) 会話を中心に、ひらがな・カタカナ・漢字を学習します。
- ・Cクラス(=中級～上級) 会話や、日本語の文章の書き方、読み方、漢字を学習します。日本の文化や習慣も学習します。

☆クラスは、受付をしたときに、あなたの日本語レベルや希望を聞いて決めます。

グループは、あなたに必要なことが学べる場所に決めます。

☆グループやクラスは変えることができます。あなたに合わないと思ったら、ボランティアか職員に相談してください。なるべく希望にそえるように、お手伝いします。

7 みなさんへのお知らせ(“にほんごひろばニュース”やチラシなど)

色々なお知らせを掲載している、“にほんごひろばニュース(日本語・ふりがなつき)”を毎回つくっています。ぜひ、読んでください。わからないときは聞いてください。お知らせしたいことがあったら、職員に言ってください。

「にほんごひろば」にあるチラシは、自由に持って行ってください。ひもがついているものと、ファイルの中のチラシは持っていかないでください。

8 主催者と連絡先

「にほんごひろば」は、川崎市教育委員会が主催しています。運営しているのは、会場の川崎市教育文化会館です。何かありましたら、いつでも相談してください。

また、帰国する時・引っ越す時・長い間、休むときは、ボランティアか、教育文化会館に連絡してください。(電話は、「にほんごひろばをおねがいします」と言ってください)

★川崎市教育文化会館「にほんごひろば」担当(対応は日本語です)

電話 044-233-6361 FAX 044-244-2347

E-mail 88kyobun3@city.kawasaki.jp

住所 川崎市川崎区富士見2-1-3

*教育文化会館は、毎月第3月曜日と年末年始はお休みです。

(2009年4月)

ボランティアグループによる絵本の読み聞かせの視察について

日時：平成26年9月24日 10時15分～10時30分

場所：藤崎こども支援センター

- ✓ 参加者は12組ほどで、内1組がおばあちゃんとお孫さん
- ✓ 子どもはハイハイをしている10ヶ月位～2才位までのお子さん为中心
- ✓ 内容は絵本の読み聞かせ、エプロンシアターなど、キーボードを使ったリズム遊びをやることもある
- ✓ 会場は座る場所がないほど盛況でした
- ✓ 参加しているおばあちゃんに話しかけたところ、夏の暑い時期以外は良く来ている。時間も短く子どもが集中して聞けるので、お買い物に行くついでに遊びにきているとのこと
- ✓ 読み聞かせの前後はざわざわしていた子ども達ですが、読み聞かせを行なっている間は、ジーンと集中して聞き入っているのが印象的でした



平成26年度区民会議交流会の開催について（案）

1 開催目的

各区の委員が集まり、互いに取組状況や運営方法の情報交換を行うとともに、相互の連携を深めることで今後の区民会議の発展につなげることを目的に7区の区民会議交流会を開催します。

2 開催日時

平成27年2月9日（月） 18:00～19:30（90分） ※受付開始17:30～
終了後～20:30 懇親会

3 開催場所

エポックなかはら 7階大会議室（武蔵）
JR南武線「武蔵中原」駅から徒歩1分

4 内容

- (1) 区民会議委員同士の交流を行うことを目的として、グループごとに意見交換を行うことを企画しています。
(参考：昨年度は、各区取組状況の発表及び区民会議委員同士の意見交換を行いました。)
- (2) 交流会終了後、会場を移して懇親会（会費制・任意参加）を行います（50分間程度）。
- (3) その他の内容については現在検討中です。

5 参加者

- ・各区区民会議委員
- ・市長（予定）、各区長、市民・こども局長、関係職員（事務局）
- ・傍聴者（積極的な集客はしませんが傍聴は可能とします。） ※交流会終了まで

※10月29日（水）までに企画課まで
電話、ファクス、メールにて回答してください。

第5期区民会議：「平成26年度区民会議交流会」参加確認表

川崎区

日時：平成27年2月9日（月） 18時から19時30分まで
（交流会終了後、懇親会 [20時30分まで]）

場所：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）7階大会議室（武蔵）

区	氏名	出欠	
川崎区		<input type="checkbox"/> 出席できます	<input type="checkbox"/> 出席できません

出欠については、現時点で出席できないことが明らかな場合は「出席できません」にチェックを、それ以外の場合は「出席できます」にチェックをお願いします。

交流会開催期日が近くなりましたら具体的な内容等、詳細をお知らせするとともに、懇親会の出欠を含めて改めて出欠確認をさせていただく予定です。



だい き
第 5 期

かわ さ き く く み ん か い ぎ

川崎区区民会議だより

★ 第 5 期川崎区区民会議が始まりました！

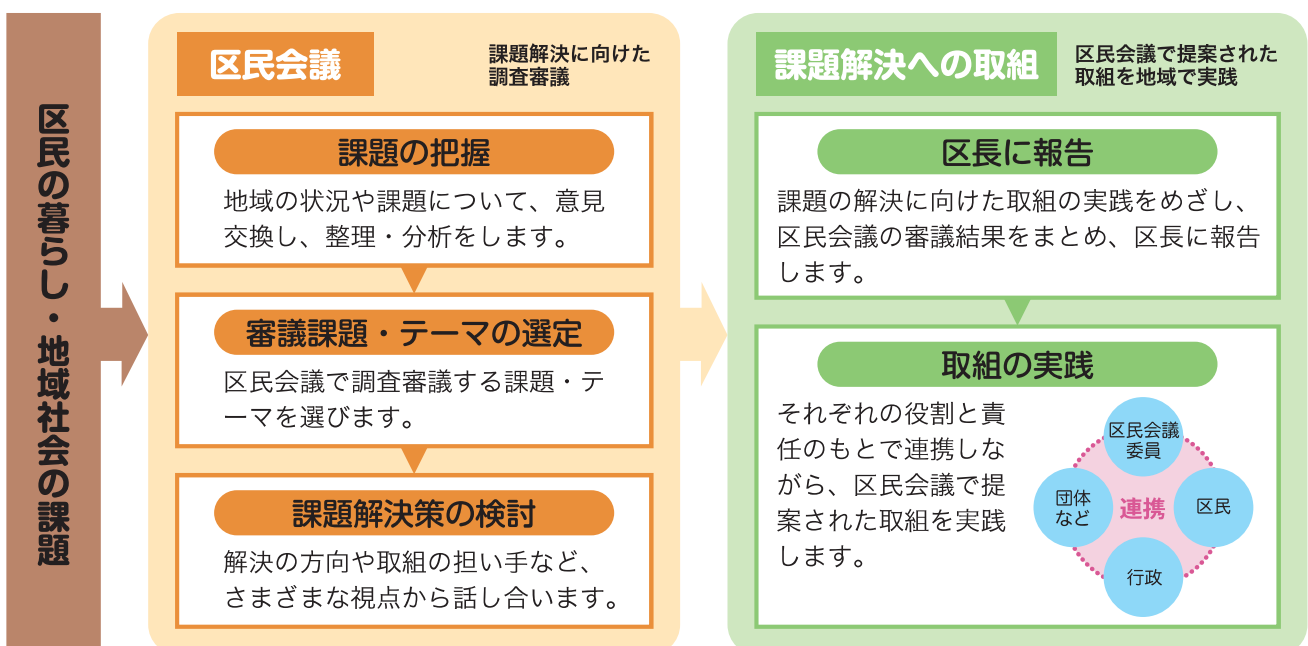


第 5 期川崎区区民会議
第 1 回全体会議の様子
(平成 26 年 4 月 25 日)

区民会議とは、暮らしやすい地域社会をめざして区民のみなさんが中心となって、参加と協働により地域社会の課題の解決を図るために調査審議をする会議です。

平成 26 年 4 月より、第 5 期川崎区区民会議が始まりました。第 4 期までの取組をふまえ、20 人の委員が地域課題の解決方法を審議します。

区民会議を通じた参加と協働による課題解決の流れ



★ 第5期川崎区区民会議委員のご紹介

第5期区民会議では、以下の20名の委員で課題解決に向けた調査審議を行います。委員は、各団体からの推薦や公募によって選出されています。 [※50音順]



- ① 赤間 靖夫
- ② 川崎区まちづくりクラブ
- ③ 区民の代表として意見を述べ、行政と一緒に、安全・安心の住み良いまちかわさきをつくっていききたい。



- ① 新井 一成
- ② 公募
- ③ 川崎区内の地域課題を区民と行政の協働により解決し、暮らしやすい魅力あるまちを目指し提言していききたいと思ひます。



- ① 新井 トキ子 (副委員長)
- ② 川崎区安全・安心まちづくり推進協議会
- ③ 誰もが安心して暮らせる町づくり、楽しいと思える地域づくり、川崎区民で良かったと声の間こえる町でありたいと思ひます。



- ① 荒巻 裕子
- ② こども関係分野
- ③ 安心して生活を送ることで、心に余裕ができ、周りの人や環境に対しても配慮や思いやりの心がもてるまちになればと思ひます。



- ① 石渡 勝朗
- ② 川崎区保護司会
- ③ 誇りの持てる街づくりに大人も子供も興味・関心を抱き、一人でも多く参加していく糸口の発見に努めたいと思ひます。



- ① 岩瀬 絹代
- ② 公募
- ③ 区民の皆さんが住みやすいと実感できるまちづくり。環境美化、特に富士見公園を気づいたら来ていたと思ひえるすばらしい公園にしたい。



- ① 金岩 勇夫
- ② かわさき歴史ガイド協会
- ③ 川崎市を中心区としての役割を認識し、先端技術推進事業の情報を内外に発信する中心の区になるような川崎区を。



- ① 知念 ジョアンナ
- ② 外国人市民関係
- ③ 米国より来日。川崎区は37年間暮らす第二の故郷です。これまでの地域・国際理解活動を活かし、多文化共生社会のために貢献したい。



- ① 塚原 晴美
- ② 川崎区PTA協議会
- ③ 日頃より環境美化を意識し、ポイ捨てができないようにマナーの向上を推進する啓発運動が活発なまちにしたい。



- ① 寺尾 宇一 (委員長)
- ② 川崎商工会議所
- ③ 区民の人々が仲良く生活の場で、地域の会社の方々ともコミュニケーションがとれ、話ができるようにしたい。ここに住みたい町、川崎区。



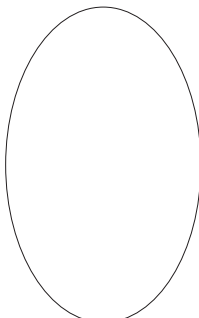
- ① 戸村 正房（部会長）
- ② かわさきマネジメント機関
- ③ 川崎区は川崎市の中心的なエリアにあります。誰もが住みたくなる様な明るく元気な子供達に夢のあるまちづくりを目指したいと思いをします。



- ① 中村 紀美子
- ② 川崎区文化協会
- ③ 区民の区民による区民のための区民会議をめざして、1人でも多くの区民の意見を反映するべくお手伝いさせていただきます。



- ① 埜瀬 晴美
- ② 公募
- ③ 全てに活力のある明るい街にしたいと思いをします。次代を担う子供達の笑い声、大人の笑顔のあふれる街が理想です。



- ① 朴 昌浩
- ② 公募
- ③ 川崎市のお手本になるくらいの「地域福祉」をはじめとした、区民にあたたかい川崎区にしていきたいと考えています。



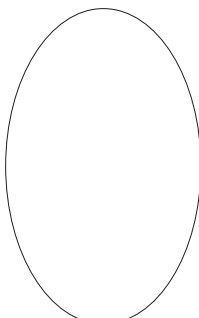
- ① 畑 敏雄
- ② 川崎区社会福祉協議会
- ③ 安心して子育てができる社会環境の整備、不安なく高齢者が生活をエンジョイできる医療・福祉施策の充実した区。



- ① 原 千代子（部会長）
- ② 多文化共生、子ども関係
- ③ 子供からお年寄りまで、外国人も日本人も皆の人権が大切にされる町。だれもが安全に命が守られ、共に支え合う町にしたい。



- ① 原田 歩
- ② 川崎区市民健康の森 海風の森を MAZU つくる会
- ③ 子供達が「この街にずっと住み続けたいと思える故郷づくり」を人任せにせず、区民全員で取組み、実行する組織を構築したい。



- ① 深瀬 欣之助
- ② 川崎区連合町内会
- ③ 川崎区は暗い、恐い、公害の町のイメージがあったが、明るい、美しい、福祉に強い、誰もが住みたい町にしたい。



- ① 森脇 卓郎
- ② 高齢者関係
- ③ 子供からお年寄り、外国の方も含めて、助け合いや交流により笑顔あふれるまち、元気のあふれるまちにしていきたい。



- ① 山田 義孝
- ② 川崎区民生委員児童委員協議会
- ③ 誰もが安心して暮らせる川崎に、公的支援事業も大切ですが、地域での居場所づくりが重要で共に助け合い支え合える関係づくりが必要です。

★ 2つの専門部会で地域課題を検討しています。

区民会議では、専門的かつ効率的に地域課題の解決方法を検討するために専門部会を設置します。

専門部会の設置については、まずは、それぞれの区民会議委員が普段感じている地域の課題を出し合いました。そして、出された課題を8つの分野に整理し、これを基に2つの部会を設置しました。今後は、各専門部会が中心となって課題の解決について審議します。

各専門部会の名称と審議課題の内容は以下の通りです。

地域を育む まちづくり部会

防災対策の充実

- ◎災害発生初期に必要な情報のみを載せた防災マップの作成
- ◎マイ防災手帳の作成を通じた家族防災会議の推進
- ◎自主防災組織のあり方の検討

子どもの遊び場づくり

- ◎子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出
- ◎公園の管理運営のあり方の検討（禁止事項の整理など）

交通安全対策の推進

- ◎自転車マナー向上の検討

だれもがいきいき 暮らす部会

地域活動の充実

- ◎各団体で実施している高齢者・子どもを見守る活動などの実態調査と各団体の連携の検討

世代間交流の促進

- ◎子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開
- ◎絵本の読み聞かせによる世代間交流、町内会でのモデル実施

外国人市民が暮らしやすい まちづくり

- ◎外国人支援団体と連携した防災出前講座の開催（外国人市民意識実態調査による川崎区の特性の把握）



川崎区役所 企画課

〒210-8570 川崎区東田町8番地
電話 044(201)3267 FAX044(201)3209

区民会議とはの活動についての情報は、区民会議だよりや市政だより川崎区版のほか、区ホームページ内にある「川崎区区民会議のページ」でもご覧になれます。「川崎区区民会議のページ」では過去の会議の要点がまとめられているほか、議事録や各期の（中間）報告書、会議の開催予定なども掲載しています。

【川崎区区民会議ホームページ】

<http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-10-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

